

マスクの色や形状とアイメイクの組み合わせが顔の印象に与える影響

1832096 玉井聡太

指導教員：山崎治 准教授

1. はじめに

昨今、新型コロナウイルスの影響でマスクを着用する機会が格段に増えた。そのことにより、着用するマスクの色や形に対してこだわりをもつ人も増えてきた。

その一方で、マスクの着用は顔の多くの部分を隠すことにつながり、顔に対する印象に影響することが考えられる。宮崎他 (2014) は、マスクの着用による顔の魅力への影響を実験的に検討した。その結果、顔における魅力の要素となる平均性や対称性が隠れてしまうことによる魅力の減少の効果や、外見的不健康さが増すことによる魅力の減少効果について明らかにした。

先行研究では、メイクのみ着目した印象とマスクの有無あるいはマスクの色や大きさによる印象変化についての調べられているものの、それらの組み合わせについての検討はあまり行われていない。このようにファッションという観点からの検討を行うことにより、マスクへの忌避を緩和することができ、感染防止とともに魅力度を高めるマスクの利用という点で新たな知見が得られることも期待される。

2. 目的

本研究では、アイメイクとマスクの色および形の組み合わせによって、顔の印象にどのような変化を生じるのかを調べる。アイメイクについては、アイシャドウの色を操作し、マスクの色および形については、マスク市場で流通量の多いものを取り上げる。顔画像に対してアイメイクやマスク着用を想定した画像を合成することで、評価用の画像を作成し調査に用いた。

3. 実験 アイメイクとマスクによる影響

本調査では、アイメイクの色とマスクの色を操作し、それぞれの要素が印象に影響を与えるのかを検討した。

3.1 方法

実験参加者：クラウドソーシングのサービスを提供している「クラウドワークス」で依頼した 100 名 (男性 54 名, 女性 45 名, 無回答 1 名)。

実験計画：顔画像の種類はアイメイクの色 3 種類 (赤色, 青色, 茶色), マスクの色 4 種類 (白色, 赤色, 青色, 黒色) を組み合わせた 12 通り (赤色のアイメイク×青色のマスクなど) の画像を提示した。

材料：本調査で使用するための画像を作成する。今回の実験では元となる「顔画像」「マスク」「アイメイク」の 3 つが必要となる。顔画像は予備調査で日本人に見える顔画像を 5 枚提示し、最も平均的な評価を得た顔画像を使用した。顔画像はプライバシーの観点からすべて AI が作成した顔画像を使用し採用された顔画像は「Generated Photos」の AI (人工知能) が作成した顔画像を使用した。

アイメイクは 3 種類 (赤色, 青色, 茶色) を用いた。マスク画像は 3 種類「ブリーツ型, ダイヤモンド型, 立体型」を用いた。



図 1: 本調査で使用した顔画像の例

手続き： Google フォームを用いたアンケート上で回答を求めた。セクションごとに 1 つのパタンのマスク付き顔画像を呈示し、SD 法による 5 段階の印象評価をしてもらった。用いた形容詞対は「明るいー暗い」「子供っぽいー大人っぽい」「親しみやすいー親しみにくい」といった 7 つの形容詞対であった。それとともに、魅力度として「魅力的なー魅力的でない」の 7 段階の評価にも回答してもらった。

3.2 結果

本調査で得られたデータの中から、「明るい (1)ー暗い (5)」の形容詞対のアイメイクとマスクの組み合わせ毎の印象評価の表を記載する。

表 1: 「明るいー暗い」の形容詞対の印象評価

	アイメイク青	アイメイク赤	アイメイク茶
マスク白	2.99	2.88	2.59
マスク青	2.81	2.60	2.80
マスク赤	2.40	2.08	2.05
マスク黒	3.54	3.59	3.36

2 要因参加者内分散分析をおこなった結果、今回使用した 8 つの形容詞対すべてで、アイメイク要因の主効果、マスク要因の主効果、交互作用のすべてに有意差が認められた。

(アイメイク要因: $F(2, 198)=7.49$, $p<.01$, partial $\eta^2=0.07$ /マスク要因: $F(3, 297)=72.88$, $p<.01$, partial $\eta^2=0.42$ /交互作用: $F(6, 594)=3.70$, $p<.01$, partial $\eta^2=0.04$)

4. まとめ

一番魅力的に見せるには「茶色のアイメイク」に「白色のマスク」が一番魅力的であり、親しみやすいことが分かった。このことから、単に魅力度だけを重視するならば、鮮やかにしたりする必要がないということが分かった。この結果は、色の組み合わせがシンプルだからこのような結果を得られたのではないかと考えられる。

参考文献

宮崎 由樹・佐藤 史織・河原 純一郎 (2014). 顔の魅力に及ぼす衛生マスクの効果. In 日本心理学会大会発表論文集 日本心理学会第 78 回大会 (pp. 1AM-1). 公益社団法人 日本心理学会